

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	斎場管理運営	シート番号	011-203
-------	--------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

		令和元年度実績						
活動実績と成果	14	<p>・斎場は、故人との最後の告別の場であることから、火葬において、ご遺族の心情に配慮するとともに、ご遺体の尊厳を第一として業務を遂行した。</p> <p>・良好な状態で適切に施設、設備の利用ができるように、日々の清掃、修繕や定期的な保守点検などを実施した。</p> <p>・特に火葬炉については、不測の事態により火葬業務が停止することはなく、また火葬炉を常に安定的に安全に移働させるための補修工事を実施した。</p> <p>・火葬炉は常に安定稼働をすることができ、年間 約 8,300件の火葬を実施した。式場についても約1,000件の利用があった。</p> <p>・主な斎場使用料収入は、火葬場分 198,042千円、式場分 59,275千円であった。</p> <p>・市民からの改葬に関する相談や問合せ等に応えつつ年間 780件の改葬許可を行うとともに、合計で年間1,000件を超える火葬証明、分骨証明を交付した。</p>						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		年間火葬件数 (改葬遺骨を除く)	件	目標値	-	-	-	-
			実績値	8,097	8,159	8,347	-	
			達成率	-	-	-	-	
			評価	-	-	-	-	
		算出方法・設定根拠など		実火葬数による積算				
	16	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		年間式場使用件数	件	目標値	-	-	-	-
			実績値	977	1,029	990	-	
			達成率	-	-	-	-	
			評価	-	-	-	-	
		算出方法・設定根拠など		斎場使用許可申請数による積算				

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	年間火葬件数(改葬遺骨を除く)	件	8,097	8,159	8,347
	②	上記①にかかる年間経費	千円	275,756	285,081	285,402
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	34,057	34,941	34,192
	備考(算出についての説明等)		年間経費はガス料金、火葬運営委託料、火葬炉定期補修、火葬炉関係消耗品購入額等で算定			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	年間式場使用件数	件	977	1,029	990
	②	上記①にかかる年間経費	千円	26,698	27,640	28,034
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	27,327	26,861	28,317
	備考(算出についての説明等)		年間経費は空調機器保守委託料や照明等の電気代、式場清掃等について面積按分により積算			

業績の分析

	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>	
19	<p>当斎場は唯一の公営火葬場として常に良好に運営することが求められている。日常点検を行い、必要な補修を行ってきた。特に火葬に直結する火葬炉については定期的な保守、補修を行い、点検時を除き火葬炉の使用が長期間、出来ない状態にならないようになっている。このことにより火葬運営・式場使用等、安定的に施設運営ができた。本市唯一の公営火葬場として有効性は非常に高い。</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">【分析のチェックポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の達成度はどうでしたか。 ○ 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。 ○ 資源投入は適切でしたか。 ○ 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。 ○ 有効性は高いですか。低いですか。 ○ 効率性は向上していますか。 ○ RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。 ○ ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	斎場管理運営	シート番号	011-203
-------	--------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 当斎場は市内唯一の公営火葬場であり、廃止、休止の場合、市民は市外の火葬場を利用することとなり、使用料の負担増を招き、利便性が損なわれる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 当斎場は市内唯一の公営火葬場であり、廃止、休止の場合、市民は市外の火葬場を利用することとなり、使用料の負担増を招き、利便性が損なわれる。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 火葬運営において、民間委託可能な業務については多くを委託しており、また、多額な修繕経費等についても優先度などを勘案し、必要最小減の補修を行っている。当斎場は唯一の公営火葬場として常に良好に運営することが求められており、これ以上の縮減はサービスの低下を招き、運営に支障をきたす可能性がある。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 当施設は来場者も多いため、感染症への対策のため、厚生省のガイドラインに従い換気、消毒等の徹底を図っている。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 民間委託可能な業務は積極的に民間委託に取り組んでいるため、民間委託が可能な業務は考えにくい。しかし、民間委託可能な業務については、引き続きすすめていく。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 斎場建設から20年が経過し、火葬炉をはじめ施設、設備に経年劣化が見られる。今後増加する火葬需要に対応するため、施設の計画的な補修を行い、施設の長命化を図っていく。		